

『日本舞踊を広めるために』

浜小学校 6年 吉田 絢香

私の初めての誕生日で物取りをした時に扇子を選んでいる一枚の写真があります。私は二才半から日本舞踊を習っています。始めたきっかけは、お母さんやいとこなど周りに日本舞踊をしている人がたくさんいて、物どころがついた頃には習っていました。先生は私の祖母のお姉さんです。

日本舞踊の魅力は昔から伝わってきたものを知ることができることや、また発表会ではたくさんの人から拍手やお花をもらったときに達成感を味わうことができることです。でも、新しい踊りを一から覚えたり、きれいに見せるため、足や手の指先まで一つ一つ丁寧に踊りたいへんさもあります。

今まで、毎年文化祭などで日本舞踊の発表をしてきました。中でも心に残っている発表会は、昨年初めて男踊りを踊ったときです。

いつもと違う動きで、足の向きやあげ方がなれるまで大変だったけど、踊った後は、達成感がありました。

私が日本舞踊の先生になろうと思ったきっかけは、日舞の先生やお母さんから「日本舞踊の名前をとって先生になってね」と言われたことで真剣に考えるようになりました。

先生になるためには、十五才以上になり、まず、藤間流の名前をとらなければいけません。そして、日本舞踊の先生から「藤間〇〇」という名前をもらいます。先生になる人に教えられる試験に合格しないといけません。それは簡単なことではありません。

これから、十五才までに少しでも日本舞踊を上達させることが今の私の課題です。そして日本の伝統芸能である「日本舞踊」をたくさんの人に広められる先生になりたいです。